

## 会議ダイジェスト

## 編集委員会

## ・第 1 回編集委員会

開催日：3 月 27 日

出席者：佐野委員長ほか，13 名。

1. 鉄鋼協会・金属学会欧文会誌の合併は必要ないとの結論になった。
2. 「鉄と鋼」掲載講義から選択し，別刷りを作成販売することになった。
3. ISIJ 情報ネットワーク記事の編集を，平成 5 年発行の一冊につき東北支部へ依頼することとなった。
4. 「鉄と鋼」論文者数を最大 8 名まで許容することになった。
5. 本会主催国際会議プロシーディングス掲載記事の「鉄と鋼」への投稿論文は，従来通りの扱いをすることになった。
6. 依・澤村両論文賞候補論文及び選考小委員会構成が承認された。
7. 知的財小委員会委員構成が承認された。
8. 講演のビデオ販売は，講演大会分科会，技術講座小委員会で検討することになった。

## ・第 2 回編集委員会

開催日：4 月 17 日

出席者：佐野委員長ほか，15 名。

1. 新理事及び新委員の紹介があった。
2. 和文会誌分科会，講演大会分科会，機械翻訳検討小委員会から会議内容について報告があった。
3. 日本金属学会と，和文会誌・欧文会誌・講演大会に関する検討 Working Group を構成することが決定した。
4. 日本金属学会が行った講演大会のハワイ開催に関するアンケート結果の報告があった。

## ・第 2 回和文会誌分科会

開催日：4 月 10 日

出席者：木原主査ほか，11 名。

1. 17 件の論文審査報告がなされ，掲載可 9 件，照会后掲載可 7 件，その他 1 件であった。
2. 「鉄と鋼」第 78 年 7 月号（「製鉄プロセスにおける現象とモデル化」特集

号）に，41 件を掲載したい旨，特集号編集 WG より報告され，承認された。現場技術報告 6 件を 6 月号に掲載することを決定した。

3. 解説等 5 件の執筆依頼を決定した。

4. 「鉄と鋼」表紙デザインについて検討を行った。

## ・第 1 回依論文賞選考小委員会

開催日：4 月 3 日

開催地：千葉工大

出席者：木原小委員長ほか，12 名。

1. 平成 4 年度依論文賞候補論文 29 件の分類分けと第一次評価者を以下の通り決定した。製鉄 7 件/評価者 11 名，製鋼 4 件/評価者 10 名，加工 4 件/評価者 8 名，性質・萌芽 8 件/評価者 13 名，表面処理・分析 6 件/評価者 10 名。
2. 選考に関する内規の一部見直し。
3. 今後の選考スケジュールの決定。

## 育成委員会

## ・第 6 回企画小委員会

開催日：3 月 24 日

出席者：荒牧小委員長ほか，6 名。

1. 第 2 回育成委員会報告
2. 「高校理科教育担当教諭との技術教育協議会」進捗状況報告
3. 鉄鋼工学セミナー Advanced Course 設置について

## 基礎研究会

## ・第 10 回組織制御と性質研究部会

開催日：4 月 10 日

開催地：新日鉄/富津

出席者：小指部会長ほか，18 名。

1. 新日本製鉄・鉄鋼研究所見学
2. 研究報告
  - ・加工熱処理時における鋼の変態・析出挙動に及ぼす微量元素の影響
  - ・ショットピーニングをほどこした高強度鋼の曲げ疲労特性と組織因子の関係
3. データ収集の検討
4. その他

## ・第 9 回極低炭素鋼板研究部会

開催日：4 月 6 日

出席者：佐久間部会長ほか，29 名。

1. 研究発表
  - (1) 極低炭素 Ti 添加鋼熱延板の Ti 系析出物の形成に及ぼす S の影響

(2) 脱炭によって炭素濃度を制御した低炭素鋼板の集合組織

(3) 極低炭素鋼の再結晶集合組織形成における Mn の役割

(4) 極低炭素冷延鋼板の粒成長性に及ぼす析出物の影響

2. 極低炭素鋼板研究部会の報告書作成スケジュールについて

3. IF 鋼に関する国際シンポジウムの開催について

標記シンポジウム開催の要望が強く国際交流委員会に提案することになった。

## 共同研究会

## ・第 4 回運輸部会平成 4 年度調査小委員会

開催日：4 月 16 日

出席者：檀野委員長ほか，18 名。

1. レポート構成案検討
2. その他

## 鉄鋼基礎共同研究会

## ・第 12 回鉄基複合材料部会

開催日：3 月 25 日

出席者：新居部会長ほか，17 名。

1. 平成 4 年度活動計画に関して
2. 第 2 回中間報告会（4 月 1 日）に関して
3. 研究発表
  - 1) オージェ電子分光と鉄基複合材料（東大生研）
  - 2) X 線光電子分光と鉄基複合材料（東北大）

## 標準化委員会

## ・第 118 回普通鋼分科会

開催日：3 月 24 日

出席者：古山主査ほか，13 名。

1. JIS と ISO 整合化検討（JISG 3141，G 3192，G 3314）
2. 圧力容器用調質ニッケルクロムモリブデン鋼板 JIS 原案について検討。需要家からの要望書を待ってさらに進める。
3. その他